



高市早苗総務大臣に提言申入れをする三原じゅん子 PT座長、国光あやの PT事務局長

ネット中傷抑止策 情報開示要件緩和など総務相に申し入れ 自民

インターネット上のひぼう中傷を抑止するため、自民党は、誰が投稿したか速やかに特定できるよう情報開示請求の要件を緩和することなどを高市総務大臣に申し入れました。

SNS上でのひぼう中傷を苦にプロレスラーの女性が自殺したとみられることを受けて対策を検討してきた自民党の作業チームは提言をまとめ、高市総務大臣に申し入れました。

提言では、表現の自由に配慮したうえで誰が投稿したか速やかに特定できるよう法律で「権利侵害が明らかな場合」などとされている情報開示請求の要件を緩和することや、投稿した人の氏名や住所などに加えて電話番号も開示することを求めていました。

さらにプロバイダーがアクセス記録を保存する期間を延長すべきだとしていて、高市大臣は「被害者救済の迅速化に向けしっかりと取り組んでいきたい」と述べました。

作業チームは森法務大臣に侮辱罪の罰則の強化なども求めました。

政府は提言を踏まえ、今後必要な法整備など対策を検討することにしています。